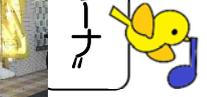


ボランティア活動グループ訪問記

ボラマシマ

星が丘にある福祉事業所 ピッコリーナ



10月8日(金) 気持ちの良い秋の陽気に恵まれた午後 広報委員二人でおじゃましました。



淵野辺から上溝へ向かう道の星が丘3丁目信号の近く、通りに面してカフェピッコリーナののぼり旗が見え、少し奥に入った所にカフェの看板が見えました。事務室へ回ると午後のゆったりとした雰囲気がお伺えます。さっそく3階から案内して頂きました。3階は作業室一つとハーブティーの部屋があります。1、2、3と部屋ごとに番号の付いた札が入り口に掛かっています。利用者さんが作業室を分かり易くするための配慮なのだなと感じます。ここでは寿司屋さんのチフシの中にさらにチフシを挟み込む作業。また別の作業室ではハーブティーのブレンド。それぞれの8種類のハーブを細かくハサミで刻んで、ブレンドして袋詰めしています。作業に楽しく取り組めるよう作業室を移動して作業内容の異なることが出来るように工夫しているそうです。このハーブティーはあじさい会館のバオバブでも販売されています。



カフェで作業する利用者の美乃里さん(左)と職員さん

次に2階へ。ここにも作業室が3つあり先ほどの寿司屋さんのハシと醤油トシイを人数分に

応じるよう何種類かにセレクトしています。別の作業室では作業の終わった二人の人がぬり絵などをして楽しんでいました。

作業にあたるのは1グループ平均7名。全員で29名います。職員は20名。次は1階へ。ここは食堂で調理室とカフェエソとして事務室があります。食事は2班に分かれて食べているそうです。食堂でお茶を頂きながら、所長の中田美生さんに改めてお話をうかがいました。

開所は平成24年、今年で9年目になります。もとは上溝にあり引越してきたそうです。仕事をしてお給料をもらい好きなものを買ったりご家族にごちそうするのを楽しみにされている利用者さんもおまいます。20才から50才ぐらいまでの人が作業に従事しています。通所はグループホームに住みながら送迎車を利用する人、自力で通う人、自宅から通う人、すこし遠くて藤野から通ってくる人もいます。長く続けて働いていて24、5年という人もいます。

カフェのメニューにあるピザ、スパゲティ、シフォンケーキ作りなども利用者さんと一緒に行っています。作業は個人の希望や特性に応じて選べるようになっていきます。外部作業としてマンションの清掃なども行っています。

最後に名前の「ピッコリーナ」とはイタリア語で「小さくてかわいい」という意味で、「小さくても地域できらりと光る施設を目指します。働くことを通して社会のかかわりを深めます」と伺いました。土曜日、日曜日はお休みですが、カフェは月、土曜日まで開いていて日曜日と祝日が休みになります。お近くの方は一度ぜひ。(杉崎 植野)



Facebook を開設しました!

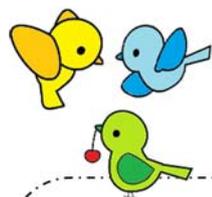
渋谷 久美

広報委員会情報部会では、ボランティア協会のホームページを見やすくしたり、SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)の一つである、Facebook(フェイスブック)を新たに開設しました。

ホームページやフェイスブックに、ぼら通の内容のほか、動画やカラー写真も掲載しています。ボラ協主催、ボラ協も携わっている事業の「いまの時間の様子」「つい最近の様子」などを掲載し会員の皆様はもとより、相模原市内から県内、国内、海外(!)の関心のある方に、紙媒体では伝えきれない、ボラ協の魅力を多くの方に知っていただければ、と思っています。

ホームページ・フェイスブックともに「相模原ボランティア協会」で検索をするとボラ協のホームページを見ることができます。フェイスブックがはじめての方は、パソコンやスマートフォンで「フェイスブックアプリ」のダウンロードが必要です。無料。アップストア(Appストア)やプレイストア(Playストア)から。お名前を入力などがあります。

カフェ入り口にあるウエルカムボード



*社会福祉法人 県央福祉会ピッコリーナ 所長 中田美生 〒252-0238 相模原市中央区星が丘 4-16-16-1 ☎042-786-6086